



## プログラム

- ♪ 三木たかし: アンパンマンのマーチ
- ♪ スッペ: 軽騎兵序曲 (カット版)
- ♪ ルロイ・アンダーソン: ワルツィングキャット
- ♪ 楽器紹介
- ♪ ビゼー: カルメン前奏曲
- ♪ しゅうさえこ: あいうえおにぎり
- ♪ ベートーヴェン: 交響曲第7番第1楽章 (カット版)
- ♪ ジミー・ドッド: ミッキーマウスマーチ
- ♪ グリーク: ペールギュントより「朝」



## 東京21世紀管弦楽団

音楽を通して、多くの人達と手を携へ、今までの固定観念にとられない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。浮ヶ谷孝夫(ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。クラシック音楽を広く普及させる自主公演、定期公演は東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホールなど都内の主要なホールで活動をしている。2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップ、オペラ界のビッグスター、ファン・ディエゴ・フローレス、ヴィットリオ・グリゴロとの共演。2021年、オペラシティにて行われたベートーヴェン「第九」は、満席の聴衆を魅了し大成功を収めた。2022年6月、第18回シヨパン国際コンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアとの協奏曲のタペ、同年8月東京国際フォーラムホールAでのミュージカル「ラ・ラ・ランド」6回公演、11月オーチャードホールで「BBC PROMS」に出演し好評を博した。12月東京芸術劇場にて「第九」公演は多くの聴衆から高く評価された。2023年1月「ホセ・カレーラス&プラシド・ドミンゴ」コンサートに出演し好評を博した。5月、4年ぶりに開催された「ラ・フォル・ジュルネ・TOKYO 2023」に出演。活動の場を広げている。

## 指揮者 宮松重紀

横浜生まれ。横浜国立大学を卒業後、東京藝術大学指揮科を首席にて卒業。指揮を山田一雄、遠藤雅古の各氏に師事。イタリアのキジアーナ音楽院では、ロジェストヴェンスキーに師事。東京二期会等のオペラ公演において、小澤征爾、チョン・ミョンファン、大野和土らの下で公演に参加、2008年にはミラノ・スカラ座にて研修を経験し、現地での公演にも参加し研鑽を積む。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団・東京交響楽団・東京シティフィルハーモニック管弦楽団・神奈川フィルハーモニー管弦楽団・仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、国内主要オーケストラでの公演や、新国立劇場をはじめ全国各地でオペラ公演でも指揮し好評を博す。また、東京オペラシンガーズとの関係も大変深く、ウイーン・フィルハーモニー来日公演(小澤征爾指揮)、サンクトペテルブルク・フィル(テミルカーノフ指揮)、シカゴ交響楽団(ムーティ指揮)、NHK交響楽団東日本大震災チャリティー・コンサート(第九)(スーピン・メータ指揮)をはじめ、国内での定期演奏会等に合唱指揮者として客演する。クラシック以外にも活動を広げており、エイペックスから東京フィルによるアニメ音楽のCDが発売されている。東京藝術大学大学院オペラ専攻講師、東京音楽大学指揮科講師を経て、現在、東邦音楽大学声楽科講師、横浜国立大学の講師として、後進の育成に情熱を注いでいる。



## 浦安市文化会館大ホール

千葉県浦安市猫実1-1-2 (浦安市役所隣)

★東京メトロ東西線「浦安駅」下車徒歩25分またはバス10分 (浦安市役所隣)

★JR京葉線・武蔵野線「新浦安」駅下車徒歩20分またはバス10分  
\*会場には専用の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

